

いであ

20年に売上高185億

技術力高め高付加価値化

いであは23日、2018—20年の数値目標を明らかにし

た。売上高は18年12月期が180億円、19年12月期が182億円、20年12月期が185億円を目指す。17年12月期の売上高は約175億円、営業

応し、新規事業や市場開拓に注力していく。同日開いた決算説明会で細田昌広社長は「強みを生かし、さまざま

このほか、健康被害をたらずリスクが高い6種の生物のDNAを検査する『お部屋の健康診断』といったBtoC事業も展開していく。

延長1層のオーガーを継ぎ足していくことで、現時点では3層までの施工を可能とした。小口径推進工法に比べ、工期短縮やコスト縮減も図れる。

17年12月期のプロポーザル、総合評価落札方式など技術力を重視する契約方式による受注高(単体)は、全体の約75%を占めた。技術力と提案力向上・技術開発による高付加価値化・選択と集中を進めていく。

海外事業展開は、地球環境問題や災害リスク削減への国際的な取り組みに柔軟に対

自社用地で行った試験施工では、山砂の場合は1層を約9分、粘性土は約20分で掘削できた。同社は、既に基本技術は完成し、実現場への導入が可能なレベルに達したとしている。

海外事業展開は、地球環境問題や災害リスク削減への国際的な取り組みに柔軟に対

海外事業展開は、地球環境問題や災害リスク削減への国際的な取り組みに柔軟に対

海外事業展開は、地球環境問題や災害リスク削減への国際的な取り組みに柔軟に対

海外事業展開は、地球環境問題や災害リスク削減への国際的な取り組みに柔軟に対

海外事業展開は、地球環境問題や災害リスク削減への国際的な取り組みに柔軟に対

海外事業展開は、地球環境問題や災害リスク削減への国際的な取り組みに柔軟に対

海外事業展開は、地球環境問題や災害リスク削減への国際的な取り組みに柔軟に対